

製造装置・材料・計測

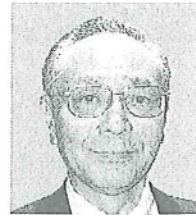
千住金属工業は、低銀、銀レスなど顧客のニーズに合わせた多様なはんだ製品の開発を強化し、これら新製品の売上げ比率を30%まで引き上げる。

住金工業 千住金属工業 はんだ合金の開発を強化

新製品の売上比率 30%まで引き上げ 顧客の多様なニーズに対応



多様な新製品を展示した「実装プロセステクノロジー展」の千住金属工業ブース



長谷川 社長

長谷川永悦社長は「銀など、はんだの原材料の高騰が避けて通れない。鉛フリーはんだの新たな展開に入った。銀レス、低銀など顧客の要求に沿った開発が不可欠になっている。多様なはんだ合金を開発し、使い

タベースを構築して顧客に提案できる体制を作りたい」と語る。

「用材料「M24T」、品質を確保しつつ銀含有量を0.3%に抑えて低コスト化を実現した「M46」、低銀ながら「M705」製品と同等の作業性、濡れ性を備えた「M40」、高強度で応力緩和性をもち「M705」より融点が6度低い車載用はんだ合金「M53」、ハロゲンフリー規格に適合し、「M705」と同等以上のはんだ濡れ性を確保した「L23」などがある。

同社は1日から3日間、東京ビッグサイトで開催された「実装プロセステクノロジー展」に出展し、これら新製品のほかにもハロゲンフリーや入りはんだ「SHFZERO、CB」、低温焼結「Agナノペースト」、高信頼性はんだ「M53」、低温実装用「L20、L23」、低銀ソルダペースト「M40、M46」、無残渣ペースト「NRB50シリーズ」、S70GR (常温保管印刷用) 低コスト・環境配慮材料「M24MT」、定量供給はんだ材料「ペレット、チップソルダ」、リングはんだ、やに入りはんだ「NEO、FORTE」など、多彩な製品群を出品した。

同社では、製品開発に女性技術者も多く加わっている。長谷川社長は「やに入りはんだは工場では女性が作業するケースが多い。女性の立場で臭いや煙を抑えた製品を開発している」という。